

# MFAインストラクター養成コース(IDC)

MFAのIDCは、40年以上にわたってMFAトレーニングプログラムに組み込まれてきた、インストラクショナルデザインとトレーニング開発の確立されたモデル、理論、原則を反映しています。MFAのIDCは、認可されたMFAインストラクター・トレーナー(IT)が、インストラクター候補生(IC)に対面部分を提供する従来型のコースですが、ICは、IDCの事前学習（セルフスタディ）部分と対面部分の両方を修了しなければなりません。

## 受講対象者

MFAトレーニング・プログラムの参加者を指導し、評価し、認定するのに十分な能力を望む、あるいは必要とする、指導経験のほとんどない個人。IDCの目標は、参加者がMFAトレーニング・プログラムの指導知識、スキル、指導の熟練度を獲得または向上させることです。

## 前提条件

1. 候補生が指導することになるトレーニングプログラムにおいて、現在有効な受講者レベルの資格を有していること、および／または、最低限、以下の受講生レベルのスキルを十分にデモンストレーとできること：
  - 成人、小児、乳児のプロバイダー1人の CPR AED
  - 成人のファーストエイド-命に関わる重度の外部出血
  - 成人のファーストエイド-重度のアレルギー反応
2. IDCに参加できる推奨最低年齢は18歳。
3. 医療従事者を対象としようとする候補生には、医療に関する知識と経験が強く推奨される。
4. 候補生は、教えたいコースに含まれる知識や情報をしっかりと把握し、受講者レベルのプログラムで教えるすべてのスキルを十分にデモンストレートできなければならない。

## 候補生対インストラクター・トレーナーの人数比

1. 従来型の手法：
  - ・ 推奨される人数比は 3 : 1
  - ・ 最大人数比は6 : 1
2. アプレントイスシップの手法
  - ・ 推奨される人数比は 1 : 1
  - ・ 最大人数比は2 : 1

## 候補生対マネキンの人数比

- ・ 推奨人数比は1 : 1
- ・ 最大人数費は 3 : 1

## 推奨される所要時間

従来型の対面部分\*：2日～3日

アプレントイスシップ方式：3コース

\*従来型クラスルーム方式の対面式部分を修了するのに必要な時間は、受験者3名のクラスサイズに基づいています。より多くの受験者が参加の場合は、さらに時間が必要となり、そのタイミングは授業の準備、利用可能な機器、ITの効率によって左右されることがあります。





## インストラクターの認可と満足な修了

認可を受けるには、候補生は、IDCのセルフスタディ部分を修了し、筆記試験で合格点を取り、必要な対面式ティーチバックをすべて実施し、ITによる指導スキル・パフォーマンス評価に合格しなければならない。

IDCの修了だけでは、候補生がMFAトレーニングプログラムを実施し、認定カードを発行することは許可されない。IDCを修了した候補生は、トレーニングセンターと提携し、インストラクター申請書を提出し、インストラクターの認可を確定しなければならない。候補生は、自分のトレーニングセンターを設立することもできる。

## コース・トピック

- 従来型の講習の方法論
- 指導デザインの原則
- 質の確保
- レッスンプランニング
- ティーチバックのファシリテート
- 指導スキル
- 建設的なフィードバック
- クラスプレゼンテーション
- 講習の準備
- 講習で使う資器材と備品のチェックリスト
- クラスルームの健康と安全
- ケガの防止
- 危険な状況の回避
- トレーニング機器の使用
- パフォーマンス評価の実施
- 文書作成